

祝日本一!

近 裕崇選手(大島出身)
ひろたか

天皇杯 全日本バレーボール
選手権大会初優勝!



バレーボールのV・プレミアリーグ豊田合成トレフェルサに所属し、レギュラーメンバーとして活躍している近裕崇さんが、バレーボールの日本一決定戦、「天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会」に出場し、チームの初優勝に貢献しました。

前回王者JTサンダーズとの対戦となった決勝戦。第1セット終盤、豊田合成トレフェルサが徐々にリードを広げ、最後は近選手が押し込み、セットを先取します。勢いづいた豊田合成

トレフェルサは、セットカウント3-1で初優勝を果たしました。

近選手は、「天皇杯だからとか、決勝戦だからと意識せず、いつも通りに試合



▲優勝インタビューを受ける近選手
(写真提供：近敏一さん(大島))

も首位の豊田合成トレフェルサ。チームのリーグ初優勝に向かってがんばる近選手の活躍に目はなせません。

現在、V・プレミアリーグに入れるよう心がけたのが良かったと思います。会社の皆様、チームをサポートして下さっている皆様、ファンの皆様、恩師の方々、そして家族に恩返しが出来て良かったです。本当にありがとうございます。喜びと感謝の気持ちを語ってくれました。

大島保育園で
小正月行事「団子の木飾り」

1月15日、大島保育園で小正月行事の『団子の木飾り』が行われました。これは、昔から伝わる行事に親んでもらおうと毎年行われているもので、園児の祖父母もボランティアとして参加。当日は、祖父母と一緒に紅白の団子づくりを体験した後、ミズキの木に団子や事前に園児が焼いたせんべいのほか、その年の豊作を願い稲穂に似せたぬいごなどを飾りました。

伝空海くん(大島)は「おばあちゃんと一緒に出来てうれしかった。団子づくりも上手にできました。団子を飾った木がとてもきれいでした」と笑顔を見せていました。最後に、ケガや病気などをしないようにみんなで団子の木を拝みました。



交通事故も申(去る)年に!
交通安全指導員初出動



村の交通安全指導員の出動式が1月8日、役場前で行了われました。

出動式で、平田村長が「交通死亡事故が全国的にも、村上署管内でも減少してきていますが、交通事故ゼロの村になるよう、さらなる協力をお願いします」とあいさつ。

吉田尋良主任指導員は、「今年は申年。よく見る申、よく聞く申、よく話し合う申になって、交通事故も申(去る)年にしましょう」と新年の抱負を語ってくれました。

また、指導員の皆さんから、最近の事故形態などについての意見交換や今後の活動内容について、話し合いが行われました。その後、交通安全指導車で村内広報巡回を行い、交通事故防止をあらためて呼びかけました。

- 交通安全指導員の皆さん(順不同。敬称略)
- 吉田 尋良(大島) 伊藤 卓弘(下関)
- 小山 泰喜(大内瀬) 大沼真理子(上土沢)
- 須貝紀代美(蛇喰)

高橋ミヤさん(鉾江沢) 自治功勞(高齢者)表彰



このたび、村のほう賞条例に基づき、12月28日で満100歳の誕生日を迎えられた高橋さんに表彰状と記念品が贈られました。

高橋さんは、現在は垂水の里に入所しています。当日は、職員の手作りによるくす玉が準備され、高橋さんがくす玉を割ると入所者や職員のみなさんが拍手で祝福。大正4年生まれの高橋さんは、長生きの秘訣を聞かれると「毎日の食事が大好きで、嫌いなものなくなんでも食べることです。みなさんにお世話になって100歳を迎えられてありがとうございます」と笑顔で答えてくれました。

村内の100歳以上は、1月25日現在で高橋さんを含め5人となりました。

受賞おめでとうございました。

旭日単光章を受章 高橋長作さん(大石)



村議会議員を4期16年務められた高橋長作さん(大石・88歳)が、このたび旭日単光章を受章され、12月24日に役場応接室で伝達式が行われました。

高橋さんは、昭和54年に村議会議員に初当選以来、その豊富な経験と卓越した識見から地域活性化に多大な貢献をしました。また、平成5年の議員4期目のとき副議長に就任し、議会の円滑な運営に努め、適切な意見を述べられるなど地方自治の発展をもたらしました。

平田大六村長から書状と勲章の伝達を受けた高橋さんは、「大石ダム竣工式の翌年に議員になった時のことを思い出します。皆さんの支えがあって今回の受章となりました。ありがとうございます」とお礼と感謝の言葉を述べていました。

受章おめでとうございました。



平成9年7月にオープンしてから19年目を迎えた「桂の関温泉ゆ〜む」。1月3日、入館者が300万人に達しました。

記念すべき300万人目に来館したのは、新潟市在住の山田翼さん5歳。この日は、お母さんの実家である上関に帰省中で、お父さんと一緒に大好きなゆ〜むへ。2歳の時からゆ〜むを利用していているという翼さんは、「ゆ〜むの露天

風呂とジャグジーの泡が好き。300万人目になれてうれしい」と喜んでいました。お父さんの榮さんは、「15年以上前から通っていて、年間4、5回来ます。これからも通い続けたいです」と語ってくれました。山田さんには、理事長である平田村長から記念品として、お祝いの色紙と新米コシヒカリ5kg入りのミニ俵、女川ハム・もちの詰め合わせやお酒が贈られました。

(1ページ表紙に写真)

ゆ〜む入館300万人達成まで

平成9年7月18日	オープン
平成14年8月20日	100万人
平成17年11月5日	150万人
平成21年5月3日	200万人
平成24年10月20日	250万人
平成28年1月3日	300万人

オープンから19年
ゆ〜む入館者300万人達成!